

(広報資料)

平成30年8月2日
地方独立行政法人京都市立病院機構
(担当 京都市立病院事務局 311-5311)
(担当 京都市保健福祉局医療衛生推進室医務衛生課)
電話 213-2983

平成29年度地方独立行政法人京都市立病院機構の決算概要について

京都市立病院（以下「市立病院」という。）及び京都市立京北病院（以下「京北病院」という。）は自治体病院として、感染症医療、救急医療やへき地医療などの政策医療をはじめ、市民の生命と健康を守るために、医療の質及び患者サービスの向上に取り組んでいます。

第2期中期計画期間の3年目に当たる平成29年度は、第1期中期計画に整備した医療機能を活用し、ロボット支援手術をはじめとする高度な手術等により、入院や外来の診療報酬単価が上昇したことなどから、法人全体では過去最高となる医業・介護収益を達成しました。

一方で、法人全体の経常損益では2億42百万円の黒字となり、平成28年度に引き続き、経常収支の黒字化を達成したものの、高額な新薬を使用する患者の増加や診療体制強化に伴う人件費や経費の増加等で支出が増えたことにより、前年度に比べ、市立病院は黒字が減少、京北病院は赤字が拡大しています。

平成30年度においても、第2期中期計画の取組を着実に推し進めてまいります。

1 市立病院

収入については、患者数の増加に加え、手術件数やがんに係る化学療法件数の増加などによる診療単価の増額により、病院の売上に当たる医業収益は、市立病院開設以来最高となる166億59百万円となりました。

一方で、支出については、抗がん剤等の高額な新薬の使用や診療体制強化に伴う人件費や経費などが増加したことから、経常損益については2億74百万円の黒字を達成したものの、黒字額は前年度から71百万円減少しました。

平成30年度については、医療の質の向上や患者サービスの充実、更に高度で専門的な医療の提供など第2期中期計画の取組を着実に推し進め、一層の収益向上を図るとともに支出の削減に努め、黒字の拡大を目指します。

2 市立京北病院

収入については、入院患者数や介護老人保健施設入所者数の減少などにより、医療・介護収益は、前年度から8百万円減少し7億12百万円となりました。

一方で、支出については、人件費の増加などで、経常損益については、前年度から31百万円悪化し32百万円の赤字となりました。

平成30年度については、地域包括ケアシステムの拠点施設として、地域に根差した医療・介護を提供し、在宅医療の強化や入院患者の確保等により収益向上を図るとともに、支出の削減など効率的な運営に努め、黒字化を目指します。

平成29年度 京都市立病院機構決算

収 益 的 収 入	199億 25百万円
収 益 的 支 出	196億 83百万円
当 年 度 経 常 損 益	2億 42百万円
当 年 度 純 損 益	2億 71百万円
(< 参考 > 28年度 3億 35百万円)	

(注)市立病院及び市立京北病院により構成

第1 市立病院

1 業務量

区 分		平成28年度	平成29年度	増 △ 減	
入 院	一 般	診 療 日 数	365 日	365 日	0 日
		稼働病床数	536 床	536 床	0 床
		稼働病床利用率	85.8 %	87.5 %	1.7 割
		延べ患者数	167,940 人	171,202 人	3,262 人
		1日平均患者数	460 人	469 人	9 人
	結 核	実患者数	13,800 人	14,096 人	296 人
		平均在院日数	11.2 日	11.2 日	0.0 日
		診 療 日 数	365 日	365 日	0 日
		稼働病床数	12 床	12 床	0 床
		延べ患者数	2,978 人	3,098 人	120 人
外 来	診 療 日 数	243 日	244 日	1 日	
	延べ患者数	316,851 人	319,815 人	2,964 人	
	1日平均患者数	1,304 人	1,311 人	7 人	

2 財務状況

項目		年度	平成28年度	平成29年度	増△減	
			(消費税抜額)	(消費税抜額)		
			億:百万円	億:百万円	億:百万円	
経常	収	営業収益	178:98	187:76	8:78	
		医業収益	158:66	166:59	7:93	
		入院収益	104:52	109:42	4:90	
		外来収益	49:11	52:32	3:21	
		その他医業収益	5:03	4:85	△:18	
		運営費負担金収益	18:63	19:58	:95	
		運営費交付金収益	:23	:23	:0	
		補助金等収益	:83	:72	△:11	
	入	資産見返補助金戻入等	:55	:55	:0	
		その他営業収益	:8	:9	:1	
		営業外収益	2:07	2:16	:9	
		運営費負担金収益	:70	:63	△:7	
		その他営業外収益	1:37	1:53	:16	
	計		181:05	189:92	8:87	
	損益	支	営業費用	169:98	179:33	9:35
			医業費用	164:73	174:36	9:63
給与費			76:86	80:49	3:63	
(うち退職給付費用)			(1:44)	(3:22)	(1:78)	
材料費			41:26	45:90	4:64	
経費その他			32:30	33:90	1:60	
減価償却費			14:31	14:07	△:24	
一般管理費			5:25	4:97	△:28	
出		給与費	4:36	4:06	△:30	
		(うち退職給付費用)	(4:7)	(1:1)	(△:36)	
		経費その他	:81	:84	:3	
		減価償却費	:8	:7	△:1	
		営業外費用	7:62	7:85	:23	
		財務費用	1:28	1:16	△:12	
		その他	6:34	6:69	:35	
		計	177:60	187:18	9:58	
経常損益		3:45	2:74	△:71		
臨時損益		△:9	:27	:36		
当年度純損益		3:36	3:01	△:35		
資本的収支	収入	2:14	4:35	2:21		
	支出	22:48	28:07	5:59		
	差引	△:20:34	△:23:72	△:3:38		

3 借入金の状況

年度 用途	平成28年度末 借入残高	平成29年度中増△減			平成29年度末 借入残高
		借入額	返済額	差引	
	億:百万円	億:百万円	億:百万円	億:百万円	億:百万円
建設・医療 機器購入等	126:65	4:35	23:61	△:19:25	107:39

第2 市立京北病院

1 業務量

区 分		平成28年度	平成29年度	増△減	
入 院	一 般	診 療 日 数	365 日	365 日	0 日
		稼働病床数	38 床	38 床	0 床
		稼働病床利用率	70.1 %	65.7 %	△ 4.4 ポイ ント
		延べ患者数	9,720 人	9,116 人	△ 604 人
		1日平均患者数	27 人	25 人	△ 2 人
入 所	介 護 老 人 保 健 施 設	稼働日数	365 日	365 日	0 日
		稼働居室数	29 室	29 室	0 室
		稼働居室利用率	89.4 %	88.9 %	△ 0.5 ポイ ント
		延べ入所者数	9,465 人	9,410 人	△ 55 人
		1日平均入所者数	26 人	26 人	0 人
外 来	診 療 日 数	243 日	244 日	1 日	
	延べ患者数	29,019 人	28,355 人	△ 664 人	
	1日平均患者数	119 人	116 人	△ 3 人	
診 療 所	診 療 日 数	243 日	244 日	1 日	
	延べ患者数	932 人	867 人	△ 65 人	
	1日平均患者数	4 人	4 人	0 人	
訪 問 看 護	診 療 日 数	243 日	244 日	1 日	
	延べ患者数	7,064 人	6,647 人	△ 417 人	
	1日平均患者数	29 人	27 人	△ 2 人	
通 所	実 施 日 数	243 日	244 日	1 日	
	延べ利用者数	2,493 人	2,581 人	88 人	
	1日平均利用者数	10 人	11 人	1 人	

2 財務状況

項目		年度	平成28年度 (消費税抜額)	平成29年度 (消費税抜額)	増△減
			億 百万円	億 百万円	億 百万円
経常	収	営業収益	9:20	9:23	3
		医業収益	5:11	5:05	△ 6
		入院収益	2:67	2:63	△ 4
		外来収益	2:10	2:12	2
		診療所収益	5	4	△ 1
		訪問看護事業収益	20	16	△ 4
		その他医業収益	9	10	1
		介護保険事業収益	2:09	2:07	△ 2
		施設サービス事業収益	1:35	1:32	△ 3
		在宅サービス事業収益	74	75	1
	入	運営費負担金	1:79	1:90	11
		運営費交付金	6	6	0
		補助金等収益	4	4	0
		資産見返補助金戻入等	11	11	0
		営業外収益	12	10	△ 2
		運営費負担金	6	5	△ 1
		その他営業外収益	6	5	△ 1
		計	9:32	9:33	1
		損益	支	営業費用	9:05
医業費用	6:72			7:00	28
給与費	4:44			4:71	27
(うち退職給付費用)	(9)			(19)	(10)
材料費	53			50	△ 3
経費その他	1:32			1:35	3
減価償却費	43			44	1
介護費用	2:33			2:38	5
給与費	1:66			1:71	5
(うち退職給付費用)	(3)			(7)	(4)
出	材料費		6	5	△ 1
	経費その他		47	48	1
	減価償却費		14	14	0
	営業外費用		28	27	△ 1
	財務費用		10	8	△ 2
	その他		18	19	1
	計		9:33	9:65	32
	経常損益		△ 1	△ 32	△ 31
	臨時損益		0	1	1
当年度純損益	△ 1	△ 31	△ 30		
資本的収支	収入	34	18	△ 16	
	支出	85	75	△ 10	
	差引	△ 51	△ 57	△ 6	

3 借入金の状況

年度 用途	平成28年度末	平成29年度中増△減			平成29年度末
	借入残高	借入額	返済額	差引	借入残高
	億 百万円	億 百万円	億 百万円	億 百万円	億 百万円
建設・医療 機器購入等	3:48 (6:54)	18	56	△ 38	3:10 (6:54)

(注) () 書きは、市立病院からの借入金で外数

(参考) 地方独立行政法人・市立病院機構の決算

- 自治体病院として、救急医療やへき地医療等の政策医療の提供をはじめ、医療の質・患者サービスの向上を推進

・市立病院におけるがん診療機能の向上など医療の高度化
 ・京北病院における地域包括ケア病床の運用や在宅医療への注力 など

- 市立病院は過去最高の医業収益，京北病院も過去2番目の医業・介護収益

➡ 法人全体では2年連続の黒字に

- 北館整備に係る借入金償還のピークを迎え，資金収支等に課題も

➡ 次期中期目標・計画などにおいて，課題解決に向け取り組む

地方独立行政法人化以降の状況 ※ 四捨五入のため，数字に若干の差異が生じる。

